

## 2 卷新キャラ設定資料

ご自由にお読みください



## ルナリアス・ハーリエ・リマイン

2巻で新登場。弱冠10歳でありながらミドガリア王国軍の軍師を務める天才少女。また、技術部の主任も兼任しており、軍が使用している新型兵器の開発も行っている。元々はミドガリア王国国境付近の小さな村で生まれた普通の少女だったが、三国戦争終結後、疲弊したミドガリアを突く形で攻めてくる小国との小競り合いに村が巻き込まれてしまう。村の義勇兵たちが劣性を強いられる中で、誰も考え付かぬ策を立案し侵攻国を撃退。以後も彼女の指揮と策で撃退を繰り返し、見事村に平和を取り戻した。この時わずか5歳。その実力を軍に買われ、10歳に満たぬ段階で王国軍に入り、更にそこからスピード出世し現在に至る。

国を抜けたリヴィアや、あまり他人を認めないカティアでさえ一目置く人物であり、王国軍の人間からの信頼は極めて厚い。軍部を支える柱とさえ言われるほど。

幼少時から望まずも生死隣りあわせの戦場で戦い抜いたという生い立ち故、クロノにはいろいろと共感するところがあるらしい。

顔に斜め掛けしている狐のお面は唯一生まれた村から持ってきた大事なもの。



## カティア・リリアム

2巻で新登場。LL12。『瑠璃色の狼騎士』。ミドガリア王国軍、狼騎士隊隊長。18歳。

リリアム家は古くから王国に仕える騎士の家系であり、彼女もまた先祖たちと同じ道を辿り騎士の座についている。そういう家系であるため騎士道精神というものに忠実であり、戦争だとしても礼節や誇りを重んじる傾向がある。真面目で努力家だが、逆を言えば堅く融通が利かない。

そのため、誇りなき殺人や殺戮は悪であると断じており、元暗殺者であるクロノのことも嫌悪している（反面、その実力は確かであると認めてもいる）。

軍部では狼騎士隊（中隊規模の独立遊撃部隊）の隊長を務める。この部隊は『アクアウルフ』

という種族の狼に乗り、その素早さで敵陣をかき乱すことを仕事としている。カティアの愛狼『バイエル』は幼少からの付き合いであり、また部下の乗るアクアウルフたちのボスでもある。彼女自身はLL12だが、バイエルに騎乗した際の実力はLL13にも匹敵する、と言われている。



## ロレント・アーガット

2巻で新登場。LL11。『四手の茶』。ミドガリア王国軍、近衛騎士団臨時団長。26歳。

リヴィアがいた時点では副団長であり彼の右腕として部隊を支えていた。軍部における良き兄貴分であり、縁の下の力持ち。常々年上であるからと隊長職を譲ろうとしていたリヴィアに、自分は補佐向きだから、と笑って行ってのけるなど、上下関係や年齢にこだわらない。現存するメンバーの中では最古参であり、十年前の三国戦争にもミドガリアの兵士として参加した経験がある。

性格は遊び人気質で明るく呑気だが、ここぞという時は頼れる存在。軽薄そうに見えてその実、ミドガリア生まれのミドガリア育ちであるため愛国心は人一倍強い。

その気さくさからクロノの過去を知りつつも簡単に打ち解けてしまう。

魔導義手二本を用い、あたかも四本の腕を持つかのような戦い方から『四手』と称され、超近接戦では無類の強さを誇る。